



お葬式を家族のものに。  
**家族葬のファミーユ**

報道関係者各位

2019 年 9 月 30 日  
株式会社家族葬のファミーユ

**都市部で急速に需要が高まっている家族葬専用の葬儀会場**  
**「一日一組限定」の貸切ホール**  
**ファミーユ柏十余二（かしわとよふた）**  
**千葉県柏市に 9 月 14 日オープン**

葬祭式場を全国で運営する株式会社家族葬のファミーユ（本社：東京都港区、代表取締役社長：中道 康彰）は、一日一組貸切ホール『家族葬のファミーユ 柏十余二（かしわとよふた）ホール』を 2019 年 9 月 14 日にオープンしました。



■都市部で広まる家族葬の需要に応える

柏十余二ホールは、柏市北部、国道 16 号線・柏市十余二交差点を西へ 900m ほど入った県道沿いに面し、柏市のみならず流山市方面からもアクセスの良い場所に立地しています。元はコンビニエンスストアだった建物を家族葬専用ホールにリノベーションし、家族葬のファミーユの代名詞である「一日一組・貸切」のホールとしました。

落ち着いた漆黒の外壁に木目調の格子を設えた“和モダン”テイストの外観で、エントランスは白を基調とした清潔感のある内装です。思い出の品々を飾って故人様を偲ぶメモリアルコーナーや、お別れの儀式を行う式場スペース、お食事のスペースがコンパクトに設計され、ゆっくりとお見送りのできる空間としました。

ご家族の控室は和洋室を備え、思い思いのスタイルで過ごす事が可能です。また、これから葬儀の準備が必要、といった方の為に事前相談ルームを設け、仮にお葬式の最中でも、いつでも気兼ねなく葬儀の相談ができるスペースも用意しました。

まるで自宅のリビングでくつろいでいるような空間で、大切な人とお別れの時間を過ごす、そんなイメージの家族葬専用ホールです。

## ■直葬・格安葬と異なるファミーユの「家族葬」

大切な方を失い、深い悲しみの中にある家族に、ゆっくりお見送りしていただける時間と空間を提供したい—そんな想いから当社では、業界で初めて「家族葬」をブランド化しました。現在、「家族葬」という言葉が世の中に知られるようになっていますが、「格安葬」「直葬」「一日葬」など、費用を抑えた小規模な葬儀というイメージが定着しているようです。当社では「ファミーユの家族葬」ブランドを掲げた当初から変わらず、故人について専属のスタッフがじっくり丁寧に話を伺い、故人にふさわしい、故人らしい葬儀を提案しています。当社では、家族の意向を汲んだ、家族を主役とする葬儀を「家族葬」と考え、家族に寄り添いながら、心のこもった悔いのない葬儀を心がけています。家族や親しい人々が故人を囲んで「思い出」を振り返り、自然に湧き上がってくる「感謝」の気持ちを伝え、故人が懸命に生きてこられた「証」を記憶に刻む、そしてそのプロセスで新たに生まれる「家族の絆」が、深い悲しみを癒す一助となるような葬儀こそ真の家族葬と考えています。

## ■店舗概要

店舗名 : 家族葬のファミーユ 柏十余二ホール  
住所 : 千葉県柏市十余二 337-179  
アクセス : 【タクシー利用の場合】JR 常磐線「柏駅」  
西口より 12 分  
つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」より  
7 分  
駐車場 : 20 台  
電話番号 : 0120-774-887 (フリーダイヤル)  
営業時間 : 24 時間受付



## ■会社概要

【名称】 株式会社家族葬のファミーユ  
【設立】 2000 年 7 月  
【代表】 代表取締役社長中道 康彰  
【住所】 〒108-0014 東京都港区芝 4-5-10 ユニゾ芝四丁目ビル 7 階  
【連絡先】 TEL 03-5427-6438 (代表) / FAX 03-5427-6433 (代表)  
【従業員数】 424 名(2019 年 3 月現在)  
【資本金】 1 億円  
【売上】 70 億 2 百万円  
【事業内容】 葬儀葬祭に関する一切の業務  
フランチャイズシステムによる葬儀葬祭事業の展開  
「お葬式を家族のものに」のスローガンのもと、1 日 1 組限定の「家族葬のファミーユ」  
及び邸宅型家族葬の「弔家の灯」を提供  
これまでの葬儀の価値観にない「家族の意向を汲んだ、家族のための家族葬」を提供  
【URL】 <https://www.famille-kazokusou.com/>

### ＜報道関係者お問い合わせ先＞

株式会社家族葬のファミーユ 広報事務局  
TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788 E-mail : pr@netamoto.co.jp  
担当 : 橋本 (携帯 : 080-9874-4856)

## 参考資料

### 邸宅型家族葬会館「弔家の灯（とむりえのひ）」

「最後の時間を家族でゆっくりと過ごす」ことに重きをおき、家族葬を再定義した、邸宅型家族葬会館です。弔家の灯は民家を改装もしくは新築しているので邸宅そのものです。葬儀をするための場所ではなく、故人様とゆっくり過ごすための場所です。



### 故人様とご家族様の想いを形に

ご家族様に故人様のこと、故人様との思い出などを語っていただくなかで感じた、あふれる想いをお見送りの場で表現させていただいた、唯一無二の温かいご葬儀の例を紹介します。

#### 【アウトドアが好きだった故人様の想いを形に】



ご家族揃って、よく出かけられたというアウトドアシーンを式場の一部に再現。バーベキューセット・飯盒などのアイテムやライティングにもこだわり、思い出のひとつにもう一度ひたっていただきました。

#### 【生きていた証を年表に】



ご家族の方にお伺いしたお話をもとにスタッフがあと年表を作成。ご家族やご友人の方々に短冊やカードをお渡しして、想いや思い出をつづっていただき、唯一無二の年表ができあがりました。

#### 【ゴルフ好きな故人様の想いを形に】



ゴルフが趣味だったという故人様が実際に使われていた道具を飾り、ゴルフが体験できるスペースも配置。故人様がお気に入りだったスイング写真は、ひきのぼしてメモリアルコーナーの中心に。たくさんのお写真をお持ちでしたので、花をあしらったり、リボンをつけて木につるしたりと工夫しました。